

能登半島被災地支援レポート



第5回支援活動：11月30日（土）～12月1日（日）

<概要>

活動地域：石川県珠洲市（珠洲市多目的ホール「ラポルトすず」）輪島市（社会福祉協議会）金沢市（みはる保育園）

活動内容：各所において、クッキーハウス・お菓子（業務用副材料）を配布。

※クッキーハウスはチョコペンを接着剤として利用し家の形に組み上げるお菓子のキット。

<今回の活動について>

5月に開催された「珠洲市こども祭り」を主催した NPO 団体が中心となり、キッチンカー5 台とともに支援活動を実施。同エリア（珠洲市）は震災による家屋倒壊、火災、津波が発生し、現在も港湾施設は機能を失ったままです。被害を受けた方々が仮設住宅に住まれ、我々として、少しでも楽しんでもらおうとの“想い”から支援コンサートを開催し、食事を提供いたしました。また、前回、『輪島市社会福祉協議会』との接点を得たことから、お母さんや子どもに寄り添うべく、子ども食堂や学童保育への商品（副材料等）提供を行いました。

最終日には金沢市内でも支援を実施。同保育園は「輪島地区で被災し、金沢市に転居されたご家族」のサポートとして独自に活動。被災者間や地域、そして相談相手としての接点を作るべく、毎月、支援イベントを行っています。

<復興状況及び問題点>

時間の経過とともに復興具合が目に見えるようになってきました。半面、「被災者の心」は目に見えません。豪雨災害は多くの方に対して多くの負荷が掛かってしまいました。そのような中、私共の提供する商品は、生活物資の提供とは違い、嗜好品としての役目として「緊張を解き」、「一息をつく」、そんな生活におけるクッションとなっています。支援物資を手渡する先には、お店でみるお客様と同じ笑顔がありました。

<支援活動の様子>



珠洲市飯田漁港（ラポルト珠洲前会場）※当日は地域ボランティアも参加し、お手伝いをいただきました。